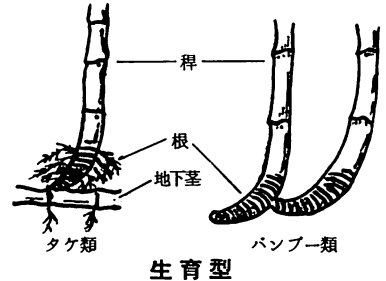


タケ・ササの育て方

植え付け

時期	2月	クマザサ、モウソウチク
	3月	トウチク、ハチク、マダケなど多くのタケ・ササ類
	5～6月	カンチク、シホウチク、バンブー類
適所	冬の北風があたらない湿潤な所	
適種	広い庭	モウソウチク
	やや狭い庭	クロチク、ハチク、ヒメハチク
玄関	カンザンチク、シホウチク	
目隠し	アオナリヒラ、トウチク、ヤダケ	



肥料

3月、5月、7月に油カスの置肥を与えます。

繁殖

地下茎（春出筍性のタケ類）

時期 出筍期の約1ヶ月前

方法 根が多くあり筍が着いている2～3年生の地下茎を、5～10節切り取り表土から筍の頭が少し見える程度の深さに植えます。

株分け（すべてのタケ類）

時期 植え付け時期と同じ

方法 1～2年生の株を根鉢の稈の太さの4倍になるように掘り上げます。稈の大きいモウソウチク、マダケ、ハチクなどは、前年の9月に予め根回しをします。バンブー類は地下茎がなく稈が密生しているので、全体を掘り上げ土を落とし2～3本ずつの株にします。この株の小枝に着いている葉は全部切り除きます。

さし木（ホウライチク、ホウオウチク、スホウチクなどのバンブー類）

時期 5月中旬～6月上旬

調整 さし穂は、枝の出た節を中心に節の上下とも約3cm残して切ります。（約6cm）

用土 深さ15～20cmの容器に、水ゴケと鹿沼土を半々に混ぜます。

方法 さし穂の枝分かれした所まで用土にさし、日覆いをして1日に1～2回水やりを行うと2週間程度で発根し2～3ヶ月で苗ができます。



地下茎による繁殖

病虫害防除

テングス病

症状 枝端から細長い性の枝が密生し、その基部から更に小枝が束生、クロチク、ネザサ、マダケ、メダケなどの3年以上の古い竹に多く発生します。

防除 施肥を十分行い古い稈を残さないようにします。胞子を飛散させる5月頃までに被害部を切り取り焼却し予防します。

スス病

症状 葉が黒いススをかぶったようになります。

防除 カイガラムシやアブラムシの排泄物にカビがつき春から夏にかけ繁殖するのでこの害虫を駆除することが必要です。適切な殺虫剤で処置するとともに、カビを抑える殺菌剤を散布します。

